

小中の連携を図り、
同じ地域に生活する児童・生徒に対する
系統的な教育の在り方を考える

I 主題設定の理由

「地域の子どもは、地域で教育する」という基本理念のもと、同地域の子どもの育成に携わる教職員が、地域との連携の強化を図りながら、児童生徒の実態について深く理解し、小中の系統的な教育の在り方を研究するために、本主題を設定した。

II 研究の内容

1 第1回ブロック研究会

(1) 日時 8月5日(金) PM13:30～

(2) 目的 地域の人材や施設、史跡を生かした臨地研修を実施し、小中教職員が連携しながら、地域に生きる子ども達の教育に活用する。

(3) 内容・コース

ア 県立ワインセンターと大善寺見学コース

- ・県立ワインセンターの見学とワインについての説明
- ・大善寺の見学と講話

イ 葡萄工房ワイングラス館と休息山休息山立正寺見学コース

- ・「葡萄工房ワイングラス館」でのワイングラスの加工体験
- ・休息山立正寺見学と講話

ウ 勝沼ぶどう郷駅周辺見学コース

- ・勝沼ぶどう郷駅・大日影トンネル遊歩道の見学
- ・大日影トンネルワインカーブの見学及び説明

エ 宮光園・メルシャンワイン見学コース

- ・宮光園の見学及び講話
- ・メルシャンワイン見学及び説明

2 第2回ブロック研究会

(1) 日時 11月16日(水) 14:05～

(2) 目的 小学校の授業を参観し、情報交換及び懇談をとおして小中の連携を強化し今後の教育活動に生かしていく。

(3) 内容 小学校の授業参観

ア 授業提供 菱山小学校 全学年

- ・第1学年 学 活「おはなしをたのしもう」 岡 ひさ江教諭
- ・第2学年 算 数「かけ算九九」 駒田 寛 教諭
- ・第3学年 理 科「明かりをつけよう」 前島 国学教諭
- ・第4学年 社 会「私たちの県のまちづくり」 高添 勉 教諭
- ・第5学年 音 楽「楽曲の響きを感じ取って演奏しよう」 広瀬 敦子教諭
- ・第6学年 外国語「行ってみたい国を紹介しよう」 野尻あや子教諭

イ 分科会

- ・「小学校低学年・中学校部会」
- ・「小学校中学年・中学校部会」
- ・「小学校高学年・中学校部会」
- 小学校児童の生活・学習の様子について
- 授業を参観しての感想、質問や意見
- 小学校の指導、中学校の指導等の情報交換

3 第3回ブロック研究会

(1) 日時 1月18日(水) PM15:00～

(2) 目的 小中学校に関わる今日的な問題についての講演会を実施し、研究を深めるとともに、今後の指導の参考にする。

(3) 内容 講演会 講演題目 「放射線・原子力の基礎」

放射線利用振興協会 東海事業所副所長 松鶴 秀夫 先生

III 成果と課題

1 成果

- ・臨地研修のコースを見直し、新しい見学地を取り入れたことで、地域について新しい発見ができてよかった。
- ・「中学校から小学校へ」また「小学校から中学校へ」とそれぞれで指導しておくことよいことを率直に伝え合い、地域の子どもをともに育て、見守っていくことは大切なので、このような機会をこれからも継続してほしい。
- ・菱山小学校の授業公開では、小規模校の学習の様子や児童の様子を参観することができ参考になった。
- ・講演会では、放射能についての基礎的な知識を知ることができた。

2 課題

- ・せっかく小中の交流の機会を持っているのだから、免許の関係もあるが小学校の先生が中学校で、中学校の先生が小学校で授業をしたり、一緒に関わったりすること取り組んでみることも、中学校区全体の児童生徒の実態を教職員全員が共通理解する一つの方法ではないかと思う。

(ブロック長 高添 勉)